

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書①

【 ボランティア・市民活動センター運営費補助 事業 】

記入日 令和 5 年 10 月 16 日

基 本 情 報 (A・B)

A) 施策、根拠法令等

担当部署	部	市民環境部	課	地域振興課	係	市民協働・消費係				
基本施策	4 心豊かに暮らせるまちづくり					事業種別		市単独業務		
						継続・新規		継続して実施している事業		
分野別施策	施策4 - 2 地域コミュニティ							事業予算額		
	-							6,562 千円		
展開方向	☒ 自治会活動などの活性化					予算科目	会計		一般会計	
	☐ 市民交流、地域間交流の推進						款	2	総務費	
	☐						項	1	総務管理費	
根拠法令等 (あれば)						目	12	地域振興費		
							事業番号		1	

B) 事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業	人口減少抑制に寄与する事業
事業概要 (何をやる事業か)	社会福祉協議会が運営している「東大和ボランティア・市民活動センター」への支援を通じて、地域のボランティア活動を支援する。
事業の対象	社会福祉法人東大和市社会福祉協議会

現年度(令和5年度)に実施中の事業について(C・D・E・F)

C) 目標・目指す状態

※市民意識調査の結果を目標値にはできません(施策評価の目標であるため)。

※「〇〇意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。

目標・目指す状態	単位	目標数値
① ボランティア活動に関する相談のうち、活動に結び付いた件数が前年度以上	件	110
② ボランティア活動における個人登録者数が前年度以上	人	75
③		

D) 前年度と変更した点がありますか？

※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点

☐ 有	変更した点→	要綱の文言等の軽微な変更を行ったのみで、事業の見直しに基づいた変更の検討に至っていない。
☒ 無	無の理由→	

E) 見直し状況

※変更(見直し)については、どの程度進んでいますか

--

F) 令和5年度中の進捗状況(予定含む)

※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。

①	補助金交付要綱の制定(単年度要綱)
②	補助金交付申請受理、審査、交付決定
③	ボランティア・市民活動センター運営委員会(時間外勤務)への出席(年5回程度)
④	ボランティア・市民活動センター主催の各種事業への出席(随時)
⑤	予算編成
⑥	補助金実績報告、精算、内容確認後、確定
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書②

【 ボランティア、市民活動センター運営費補助 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 29 日

実績報告・事業分析

A) リアタイ評価会議での意見・助言等	
①	事業予算額（補助額）が業務内容に見合う額なのか整理する必要がある。
②	本事業に対し、市の意見はどの程度反映できるのか。
③	長期的な目的が見えない。補助を行うことでこういった成果を望むか再度考えるようにしてほしい。
④	
⑤	
B) 上記意見を受けて、対応したもの 及び 参考としたもの	
③について、社会福祉協議会と目標設定について意見交換を行った。	

C) R5年度の実績（事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可とします。					
実績の説明		単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
①	ボランティア活動に関する相談のうち、活動に結び付いた件数	件	110	109	105
②	ボランティア活動における個人登録者数	人	75	74	72
③					
数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由を記載してください）					
数値結果がない理由					
R5実績は去年と比べて		左記とした理由 又は 分析等（向上・低下した要因等）： R5実績は、令和6年3月21日時点であるが、既に去年の実績を上回っているため。			
☒ 向上した					
☐ 例年通り					
☐ 低下した					
☐ その他					

D) 分析（令和5年度の実績を踏まえて）		↓該当する1つに○をつけてください↓		
①この事業の有効性は 費用対効果（コスバ）、執行体制の状況、手法として最適か 等		高かった	☐ 普通だった	低かった
①の理由：正規職員1人（専任）という体制において、ボランティア、市民活動に係るコーディネート・相談、講座、福祉教育等多岐にわたる事業を行っている中、成果をあげているため。				
②この事業に対する市民のニーズ、反応は 市民の反応等を踏まえて回答してください。		高かった （良かった）	☐ 普通であった	低かった
②の説明：能登半島地震を受けて、被災地でのボランティア活動に関する問い合わせが多く寄せられている。				
③この事業における市民協働・共創の余地は ※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。		多くの余地がある	☐ 余地がある	余地がない
③の説明：福祉施設との協働により、ボランティアの受入れを行っているが、福祉分野以外の企業等との協働については取り組む余地がある。				
④この事業が今後市の類似事業と統合・再構築できるか ※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答		可能である	検討の余地がある	不可能である
④の説明：類似の事業はない。				
⑤近隣市の類似事業と比較して充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答		☐ 他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実
⑤の説明：災害ボランティアセンターに関しては、実地訓練等、他市と比較して充実していると認識している。				
⑥東大和市独自の個性を出している事業か		☐ 市の特長、個性を出せる事業である	他市と同程度 個性はない	
⑥の説明：社会福祉協議会と検討する必要があるが、ボランティアの内容によっては、市の独自性を出せる事業であると考え。				

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書③

【 ボランティア、市民活動センター運営費補助 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 26 日

反省・今後の方向性

A) 来年度以降の課題や見直すべき点		※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	環境分野など福祉以外のボランティア活動に広げていく必要がある。	
②		
③		
④		
⑤		

B) 来年（令和6年度）の取組予定		※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	ボランティアセンターの目的・目標と当該補助事業の成果や指標について、社会福祉協議会と協議する。	
②		
③		
④		
⑤		

C) 上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等		※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	近隣市との比較・情報収集	
②		
③		
④		
⑤		

事業コスト (6 年 3 月 26 日 時点)

予算科目	款 項 目	2 1 12	事業番号	1	予算名称	市民協働事業費 ボランティア・市民活動センター運営費補助金
------	-------------	--------------	------	---	------	----------------------------------

R5予算額及び決算額

※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。

単位：円

R5予算額		R5決算額(暫定)		【参考】R4決算額	
事業費合計	6,562,000	事業費合計	6,562,000	事業費合計	6,078,948
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
18 負担金補助及び交付金	6,562,000	18 負担金補助及び交付金	6,562,000	18 負担金補助及び交付金	6,078,948
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	6,562,000	一般	6,562,000	一般	6,078,948
国		国		国	
都		都		都	
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	